

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公表番号】特表2007-532241(P2007-532241A)

【公表日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-044

【出願番号】特願2007-508365(P2007-508365)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/82 (2006.01)

A 6 1 F 2/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 29/00

A 6 1 F 2/06

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月24日(2008.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

血管の病態を治療するシステムを製造する方法であって、
インフレート可能なバルーンを備えたカテーテルを用意する段階と、
前記バルーンの上にステントを嵌める段階と、
前記ステントの上にシースを嵌める段階と、
前記シースの中への接着剤の導入に先立って、前記ステントを前記バルーンの上に圧着する段階と、

接着剤の塗布に先立って、接着剤を流体中へ、その全体にわたって分散させる段階とを含み、3グラム(3g)の接着剤を20立方センチメートル(20cc)の流体中へ、その全体にわたって分散させ、

前記方法は、さらに、

前記ステントの内面と前記バルーンの外面との間に接着剤を塗る段階と、

前記接着剤の融点よりも高い温度に前記接着剤を加熱する段階と、

前記接着剤の融点よりも低い温度に前記接着剤を冷却して、血管内運搬中、前記カテーテルに前記ステントを保持する接着結合を得る段階とを含み、前記ステントは、治療部位での前記バルーンのインフレーション及びデフレーションに続いて、前記バルーンから取り除かれ、

前記方法は、さらに、

前記接着剤の冷却後、前記シースを取り外す段階を含む、
ことを特徴とする方法。

【請求項2】

血管の病態を治療するシステムを製造する方法であって、
インフレート可能なバルーンを備えたカテーテルを用意する段階と、
前記バルーンの上にステントを嵌める段階と、
前記ステントの上にシースを嵌める段階と、
前記シースの中への接着剤の導入に先立って、前記ステントを前記バルーンの上に圧着する段階と、

接着剤の塗布に先立って、接着剤を流体中へ、その全体にわたって分散させる段階と、
前記ステントの内面と前記バルーンの外面との間に接着剤を塗る段階と、
前記接着剤及び前記流体を加熱して前記流体中の前記接着剤を溶解させる段階と、
前記ステントの内面と前記バルーンの外面との間に接着剤を塗る段階と、
前記接着剤の融点よりも高い温度に前記接着剤を加熱する段階と、
前記接着剤の融点よりも低い温度に前記接着剤を冷却して、血管内運搬中、前記カテーテルに前記ステントを保持する接着結合を得る段階とを含み、前記ステントは、治療部位での前記バルーンのインフレーション及びデフレーションに続いて、前記バルーンから取り除かれ、

前記方法は、さらに、

前記接着剤の冷却後、前記シースを取り外す段階を含む、
ことを特徴とする方法。

【請求項 3】

前記接着剤及び前記流体を加熱して前記流体中の前記接着剤を溶解させる前記段階が、
前記接着剤を 90 分の持続時間にわたり、35 から 40.6 (95 °F から 105 °F) の温度の範囲に加熱することを含むことを特徴とする、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

血管の病態を治療するシステムを製造する方法であって、
インフレート可能なバルーンを備えたカテーテルを用意する段階と、
前記バルーンの上にステントを嵌める段階と、
前記ステントの上にシースを嵌める段階と、
前記シースの中への接着剤の導入に先立って、前記ステントを前記バルーンの上に圧着する段階と、

接着剤の塗布に先立って、接着剤を流体中へ、その全体にわたって分散させる段階と、
前記ステントの内面と前記バルーンの外面との間に接着剤を塗る段階とを含み、

前記接着剤を塗る前記工程は、

細い針を備えた注射器内に前記接着剤を入れ、

前記シース内に前記針を挿入し、

前記シース内の前記針を通して前記接着剤を注入して、前記接着剤が前記バルーンの前記外面の少なくとも一部を被覆するようにすることを含み、

前記方法は、さらに、

前記接着剤の融点よりも高い温度に前記接着剤を加熱する段階と、

前記接着剤の融点よりも低い温度に前記接着剤を冷却して、血管内運搬中、前記カテーテルに前記ステントを保持する接着結合を得る段階とを含み、前記ステントは、治療部位での前記バルーンのインフレーション及びデフレーションに続いて、前記バルーンから取り除かれ、

前記方法は、さらに、

前記接着剤の冷却後、前記シースを取り外す段階を含む、
ことを特徴とする方法。